

## グランドプラザ

株式会社日本設計

グランドプラザは空筒化した富山市の中心に人を集め、賑わいをとり戻し、都市を再生しようという意思のもとにつくられた屋根付きの公共広場である。商業施設と既存アーケードに三方を囲まれたガラスのガレリアであり、3階と6階のブリッジで商業ビルと駐車場ビルが関係づけられている。グランドプラザの主役は、なんと人自身であり、そこに集う人々やアクティビティそのものである。建物は背景であり、そこで活動する人たちが生きいきと見えるような建物を意図した。そこには舞台にもなる昇降式の備品倉庫とモバイルグリーン（簡単に移動できるシノノ木の高木が植わった植木鉢）が置かれている。

ガレリアはガラス屋根とガラス壁で構成されていて、屋根面積の六分の一に当たる面積が開口部となっている。壁面部分の開口はガラスが隙間の空いた下見張りになっていて地表面から4.5mまでの開口から外気が導入され下見の開口から熱い空気が排出される自然換気システムが採用されている。ガラス屋根は高さ19mに位置し、30mm (15+15) の合わせガラスで構成されていて、Low-eペアガラス相当の遮熱性能があり、真夏炎天下の気温が屋根の無い場所よりも低く抑えられている。いわばイベントホールのような使用用途の半外部空間であるが、自然エネルギーを活用することで、快適な環境をつくりだしている。2007年9月17日のオープンから一年。とやま街なかルネッサンス・富山水辺の映像祭 with Heart Nagasaki・NHKまちなかテレビ生中継などを始めとする118回（延日数180日）ものイベントが行われ、さまざまな活動の拠点、都市の生活文化を育むインキュベーターとなっている。



### モバイルグリーン

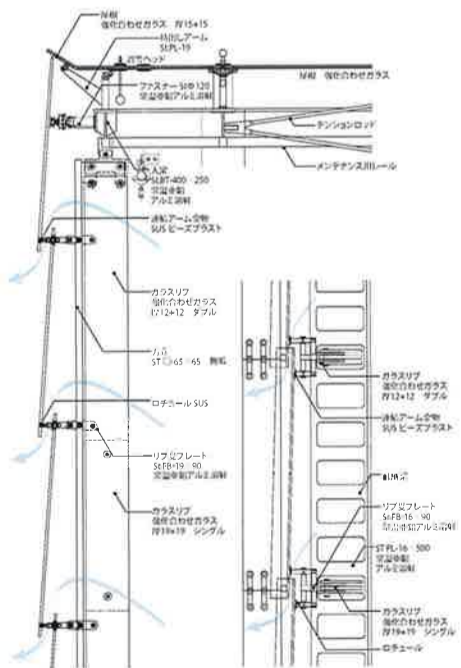
イベントに合わせて動かすことが可能な「モバイルグリーン」を設置、移動装置であるエアキャスター一式は昇降式収納庫に収納され、コンプレッサーからの圧縮空気で浮かし人力で容易に動かすことが可能。

### 昇降舞台

イベントを容易に行うために昇降式収納庫を設ける。イベント時は高さを調整することで舞台となり大型ビジョンと関連付けて使用することが可能となる。

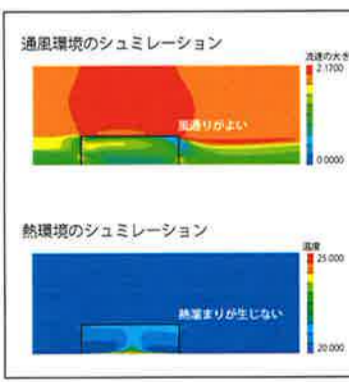


所在	富山県富山市紀曲輪
発注者	富山市
用途	屋根付き広場
竣工年月日	平成19年9月1日
建築面積	1,489㎡
延床面積	1,489㎡
構造	鉄骨造
階数	地上1階、地下1階



### 呼吸する皮膚

ガラススクリーン下部を開放し、画面面のガラスを傾斜させ、下見板のように重ねることで透明性を損ねることなく、呼吸するガラスの皮膚を実現した。垂直面の風荷重と面内方向の地震力を受けるマリオンは、樹脂の強化ガラスを混ぜ合わせたガラスリブとスチール角鋼のハイブリッドになっている。このマリオンで、一枚一枚のガラスを支持し、一枚の大きなガラス面とみなし、面内強度のある構造体として扱っている。ガラスリブを受ける耐風梁は、スチールパネル (660×50) を穴加工したフィレンティールトラスとし、穴部分に照明器具が一体化されている。



評価項目	特に重視したデザインの特徴	評価項目に対する設計者のデザイン意図	自己評価値		
			経過	獲得している	小計
感性制 (造形)	01 斬新性	採光を重視しキラキラと輝くガラスの特性を活かしたスチール角鋼と樹脂の強化ガラスを組み合わせたデザイン	○	○	2
	02 親和性	グランドプラザの主役は、人自身であり、そこに集う人々のアクティビティそのものである。建物は背景であり、そこで活動する人々の生きいきと見えるような建物を意図した。	○	○	2
	03 効用性	さまざまな用途に対応できるように、透明性と遮熱性を両立させたガラスリブとスチール角鋼のハイブリッド構造を採用した。	○	○	2
	04 美観性	富山市の中心部に空筒化した新しい空間に人を呼び寄せ、街の再生をはかろうとしたグランドプラザが実現した。その一年、年間100を超えるイベントが行われ盛況を博した。グランドプラザは都市の生活文化を育むインキュベーターである。	○	○	2
	05 完成度	今日考えられる最高のレベルのファクターエンジニアリングとそれをサポートする設備構築計画を駆使してデザインされた。皮膚呼吸するガラススクリーン、昇降する備品倉庫、観覧に繋がる巨大な植木鉢、モバイルグリーン	○	○	2
機能制 (技術)	06 親和性	様々なイベントを行うにふさわしいプラットフォーム、大型ビジョン、イベント用の各種備品を収納する昇降式の倉庫	○	○	2
	07 効率性	ガラススクリーン下部の下見板で、地表から4.5mまでの開口から外気が導入し、下見開口から熱い空気が効果的に排出される。高さ19mのガラス屋根は、30mm (15+15) の合わせガラスで、Low-eペアガラス相当の遮熱性能を持つ。	○	○	2
	08 利便性	床はフラットで、舞台にもなる昇降式の備品倉庫があり、人力で自由に動かせる5m角の巨大な植木鉢、モバイルグリーンが設置されていて、様々なイベントが開催できるようにしている。	○	○	2
	09 安全性	床はフラットで、壁と屋根を構成しているガラススクリーンには、強化ガラスが採用されているため万一にガラスが割れた場合にも落下の恐れのない安全設計になっている。	○	○	2
社会制 (環境)	10 長寿命性	皮膚呼吸するガラススクリーン、昇降する備品倉庫、観覧に繋がる巨大な植木鉢、モバイルグリーン	○	○	2
	11 環境負荷	屋根は、30mm (15+15) の合わせガラスで、Low-eペアガラス相当の遮熱性能を持ち、下部開口から外気が導入され下見開口から熱い空気が排出される自然換気システムを採用し、環境負荷を最小化している。	○	○	2
	12 省資源性	この建物の主要材料であるガラスと鉄は再生可能な材料である。	○	○	1
	13 地域連携性	北陸の富山の地を広くて長い、路地町も盛んな山並みを見られる機会も少ない。ガラスのガレリアは明るく様々な表情を見せる空間をつくりだす役割を担っている。	○	○	2
経済制 (LCC)	14 コミュニカル性	市民の生活文化を育むインキュベーターとして、市民が自由に活動することができるように設計されている。	○	○	2
	15 エネルギーコスト	2007年9月17日～18日 (延日数180日) のイベントが開催された。昇降式のイベント、それから持続し、都市生活の日々となることで富山市の都市文化が生まれる。グランドプラザは都市の生活文化を育むインキュベーターである。	○	○	2
	16 エネルギーコスト	都市の生活文化を育むインキュベーターとして、市民が自由に活動することができるように設計されている。	○	○	1
Life Cycle Cost	17 エネルギーコスト	環境負荷・大型ビジョン、観覧の昇降台・昇降式の倉庫とモバイルグリーン用電源・床面清掃としての水溜み・高層部からのメンテナンスコストとなる。	○	○	2
	18 維持管理	ガラスの屋根は内部に設置されたメンテナンス用階段を介してメンテナンス可能。外装のガラスは、劣化防止のコーティングが施されている。鉄骨は樹脂製のメンテナンス用階段を介してメンテナンス可能となっている。	○	○	2
	19 耐久性	ガラスの耐震性は鉄骨の耐力であり、鉄骨も高層部アルミ管で補強されている。耐震性が高い、高い信頼性になっている。	○	○	1
20 LCC	総合的にライフサイクルコストが低い設計である。	○	○	2	

